

○令和2年度教育事業 「たびうさぎファミリー」

①「リフレッシュ編」【R2.7/11（土）、12（日）、18（土）、19（日）】

②「親子 de 登山編」【R2.9.12（土）、13（日）、19（土）、20（日）】

③「冬と仲良し編」【R3.1/30（土）、31（日）、2/6（土）、7（日）】

※全て日帰りでの実施。4回×3シリーズで12回の実施。

◆目的

運動・調理等の活動に親子で協力して取り組むことを通して、子供のがんばる気持ちを育み、親子の絆を深める機会とする。

◆参加実績

- ・登録数…181 家族（R3.3 現在）
- ・各回参加人数 ①リフレッシュ編…21 家族 69 名
②親子 de 登山編…10 家族 35 名
③冬と仲良し編…16 家族 53 名



交流の家イメージキャラクター たびうさぎ

◆各回のプログラム

①リフレッシュ編

【マイナスイオンでリフレッシュ！（ハイキング）】



森の生き物の食痕や、植物の不思議を探しながら施設周辺の遊歩道を歩き、心身のリフレッシュを図る機会となった。

【たき火であぶってみよう】



まき割りに挑戦し、たき火を起こした。自分たちで持参した食品やお菓子を火であぶり、体験と家族団らんの場となった。

②親子 de 登山編

【登山】（初級コース 3 ｷﾟ・中級コース 6 ｷﾟ）



参加者に合わせたコースを設定し、望岳台までの軽登山を行った。親子で励まし合って目的地を目指す姿が見られた。途中、山中でお湯を沸かし、飲み物を飲むなどのアウトドア要素も取り入れ、屋外活動の楽しさを実感してもらえる機会とすることができた。

③冬と仲良し編

【大雪の雪であそぼう♪】



冬ならではの環境を生かし、スノーシューハイクやチューブ滑り、雪で凍らせたシャーベット作り等を行った。冬の楽しみを感じてもらえる機会となった。

【羊毛クラフト】



羊毛を使ってコースターを作り、親子が思い思いの作品を作った。親子での協力や役割分担の必要な機会を設け、家族の触れ合いの機会となった。



◆事業運営・企画のポイント

- コロナ禍の中での運営だったため、参加者同士の関わりではなく、「家族の絆」を深めることに重点を置いた。家族で協力したり、自然に声を掛け合ったりできるプログラムを行い、関わりを増やすように企画を進めた。
- 事業に参加をしないとできないことだけではなく、家でもできそうなこと、家族で取り組めそうなことを取り上げ、「やってみたい!」と思わせるような仕掛け作りをしていくことを大事にした。

◆参加者の声

- コロナ禍の中で、なかなか外出ができずに息が詰まっていたところがあったが、自然と触れ合うことで笑顔になる子どもの表情が見られて、よかった。
- ボランティアの方々などをはじめ、色々な人との関わりがあることで、褒められたり認められたりという場面がたくさんあり、子どもの自己肯定感も育っていているように感じる。
- 色々な体験をすることができ、家族での話題に挙がったり、またお家でもやってみようという会話があったりした。子どもの挑戦する気持ちが他のところにも広がっていくといいなと思う。

◆事業の成果と課題

- ①会員登録数を増やすことで、施設の使い方を知ってもらい、新しい利用形態に繋げることもなっている反面、会員制事業であるため、年々増加していく登録の整理をしていく必要がある。
- ②コロナ禍で参加家族数を制限し、全てを日帰りの事業で行ったため、気軽に参加できることや宿泊への不安のない中で参加することができたという声が聞かれた。今まで登録だけで参加はしていなかった家族の参加も増えたため、日帰り事業の効果もある程度見込まれたと考える。
- ③②を踏まえ、参加ができない家族に対しても何かしらのアプローチをかけられるような取組を考えていくことが必要。

◆事業運営費	合計 131,372 円
消耗品費	93,993 円
通信費	29,372 円
運搬費	8,007 円